



↑手に汗握る決勝戦での1シーン

出水地区のチームが集結 町内初の一般ソフトボール大会

長島町ソフトボール協会（下塩見浩会長）主催による、第1回長島町一般社会人ソフトボール大会が、11月2日、城川内運動場でありました。

町内の長島SC、T. T. チョッパー、B・ブリッジズ、キャッツの4チームのほか、出水市、阿久根市からも各2チームが参戦。8チームによるトーナメント戦では、白熱した試合展開に、試合を見守る他のチームからも歓声があがりました。

出水市から参加した神之田武文さんは「出水地区では、このような大会が無かったので嬉しい。次回も参加したい」と笑顔で話しました。

記念の第1回大会は、出水市の白虎隊が優勝を手にしました。その他の大会結果は次のとおりです。

[準優勝] 出水スーパースターズ（出水市）
[3位] 長島SC（長島町）、友心会（阿久根市）

英語暗唱で自分を表現

学んだ英語力を発揮

英語力の向上と英語への興味・関心を高めることや英語での実践的コミュニケーション能力を身につけることなどを目的にした、第2回長島町英語暗唱大会が、11月20日、町開発総合センターでありました。

町内各中学校の各学年代表が、保護者らが見守る中、英語で発表しました。

1年生は2人組みによるスキット（会話形式による寸劇）を発表し、2、3年生は自己紹介の後、長島の観光地や黒之瀬戸大橋を紹介する文章に挑戦しました。生徒らは、ジェスチャーを織り交ぜ、これまで学んだ英語力を発揮しました。



↑表現力豊かに英語で自己紹介する生徒



↑消火訓練に取り組む住民

片側自主防災会が初の防災訓練 地元は自分たちの手で守る

片側自主防災会（杉原薫会長）は、11月24日、同会設立後初の防災訓練を行いました。

地震による土砂災害発生を想定し、防災無線で住民に避難を呼びかけると、班ごとに緊急集合場所に集合し、指定の避難所へ避難しました。

住民らは訓練後も、煙体験や消火訓練、地図を利用した地域で作る地区防災計画の作り方など、熱心に取り組みました。

杉原会長は「初めての訓練で不安があったが多くの住民が参加し、住民の防災意識が高いことを感じた。定期的に訓練を実施し自主防災力の向上に努めたい」と話しました。